

目標 3

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
子育てと介護支援の推進	子育て・保育サービスの充実	71	待機児童の解消に向けた保育施設の整備	保育課	保育施設の整備	小規模保育施設1園を整備した。(19人の定員増加)	待機児童を解消するため、保育ニーズを把握しながら、保育施設の整備を検討していく。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	通常保育	保護者の仕事や病気などの理由により、子どもの保育ができない場合に日中子どもを預かり保育を行う。 ・令和4年3月現在保育所利用児数 市内公立保育所:1184人 市内私立保育所:2368人(教育・保育施設 2025人、地域型保育施設343人) 市外保育所:88人	保育の必要性のある児童に対し、適切な保育環境を提供する。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	家庭保育室関連事業	保護者の仕事、病気等の都合により日中の保育の必要な3歳未満までの児童の保育を、7か所の家庭保育室と委託契約をして実施した。また、保育料の費用の一部を補助した。 ・家庭保育室延べ利用者数:118人	家庭保育室と委託契約をして、実施する。また、保育料の費用の一部補助する。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	一時保育事業	保護者の仕事の都合で週1~3日程度の保育が一定の期間継続して必要な場合や、入院、通院、災害、事故、出産などの事情で家庭での保育が一時的に困難な場合のための保育サービスを行った。私立保育所の場合、リフレッシュによる利用も可能とした。公立保育所2か所、私立保育所9か所で実施した。 ・年間延べ利用者数:6097人	年間延べ利用者数が多く、多様な保育サービスのひとつとして、事業の継続を行う。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	休日保育事業	保護者の仕事などの都合で休日(日曜日や祝日)に保育を必要としている場合のための保育サービスを行った。対象は1歳から小学校就学前までとして、私立保育所2か所で実施した。 ・年間延べ利用者数:157人	今後も需要が望まれると予測されるため、多様な保育サービスのひとつとして、事業の継続を行う。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	病児・病後児保育事業	保育所、幼稚園、家庭保育室、小学校(1~3年生)に在籍する児童を対象として実施した。病気又は病氣回復期であることから、集団保育又は集団生活が困難な場合で保護者が勤務等の都合で家庭での保育ができない場合、委託した保育所又は医療機関に整備された施設に一時的に預かる事業を実施した。 ・年間延べ利用者数:521人	保護者からの需要も高く、安心して子育てに臨むことができる環境を整える保育サービスのひとつとして、事業の継続を行う。
		73	ファミリー・サポート・センターの展開	子ども支援課	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と手助けしたい人(提供会員)を会員として組織し、会員相互による援助活動の調整、会員登録、研修等を実施した(上尾市社会福祉協議会に委託)。 対象年齢 0歳~小学校6年生 会員数 1,061人 延べ活動回数 2,428件	サービスの充実を図るため、今後も継続して事業についての周知を行い、会員の確保に努めます。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	生涯学習課(公民館)	親子で参加できる講座の実施	【上尾公民館】 「わくわくドキドキ親子で燻製作り」参加者13人(男性3人、女性4人、子ども6人) 【上平公民館】 「親子で楽しくアロマテラピー」参加者17人(女性8人、子ども9人) 「君もシェフになろう・ワンデيشェフの日」参加者8人(男性1人女性3人、子ども4人) 【平方公民館】 「親子手ごねパン教室」参加者26人(男性2人、女性7人、子ども17人) 【原市公民館】 「親子で描く楽しいチョークアート」参加者36人(男性5人、女性12人、子ども19人) 【大石公民館】 「親子で学ぶ人工知能」参加者12人(男性3人、女性3人、子ども6人) 「親子で学ぶしょうゆのみみつ!」参加者12人(男性2人、女性3人、子ども7人)	引き続き親子で参加できる講座を実施する。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	人権男女共同参画課	実績なし	男性の育児に関する講座の実施はなし(男性向け料理講座の実施あり、概要No8参照)	男性向けの育児に関する講座の開催を検討する。
		75	育児相談事業の実施	保育課	育児相談	市立保育所で保育士による育児相談を実施した。 相談件数54件	育児相談の希望のある保護者に対し、適切な相談環境を提供する。
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	育児・発達相談事業	子育て世代包括支援センターで妊娠・出産・子育ての悩み、発達の心配等について電話、または来所で随時相談を実施した。 電話相談件数 2,501件 窓口相談件数 2,030件	継続実施
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	10か月児健康相談	発達が著しく活発になり、成長の節目である10か月児を対象に発育・発達の確認及び保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士が保健指導を実施した。 実施回数 年12回 相談者数 618人	継続実施 12回

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
子育て・保育サービスの充実	子育て・保育サービスの充実	75	育児相談事業の実施	健康増進課	乳幼児健康相談	保健師、栄養士、歯科衛生士による乳幼児健康相談を実施した。 【にこにこ健康相談会】 実施回数 年12回 相談者数 延べ1,269人	継続実施 12回
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	ことばとこころの相談の実施	ことば、行動等心理面・言語面の相談を必要とする幼児と保護者を対象に保健師、心理相談員、言語聴覚士による相談を実施した。 実施回数 年26回 相談者数 延べ434人	継続実施
		75	育児相談事業の実施	子育て支援センター	子育てに関する相談	子育てに関する悩み（健康・発達、しつけ、授乳・離乳など）への相談に対応した。 相談件数 219件（電話58件、面接158件、メール3件）	相談しやすい環境をつくと共に、子育て中の保護者の気持ちに寄り添い、保護者の不安感・負担感の軽減に努める。
		75	育児相談事業の実施	発達支援相談センター	発達相談	発達の心配、育児の悩みについて、来所または電話で相談を受け、保護者が自信を持って育児ができるように支援する。 相談件数：921件	悩みや心配が解消され、前向きに育児ができるよう考慮して対応し、必要に応じて各専門相談につなげる。
		75	育児相談事業の実施	子ども家庭総合支援センター	家庭児童相談員相談事業の実施	18歳未満の児童を対象に、家庭や学校生活における乳幼児・児童生徒の問題を中心として、電話または来所等で相談を実施した。 相談件数 266件 （電話215件、面接41件、子育てサロン2件、訪問8件）	健康増進課で実施している1.6健診等でチラシを配布し、相談窓口としての周知を強化する。
		76	児童館事業の展開	青少年課	こどもの城 ・おしゃべりサロン ・にこにこタッチ ・にこにこピョン ・アップーランド ・よちよちひろば ・のびのびひろば ・にこにこひろば ・わんぱくひろば	こどもの城 親子で遊びながら友達づくりや子育ての情報交換と悩み事相談を実施した。 ・計22回実施 ・参加者総数314人 アップーランド 就学前児童を年齢別に、遊びの提供と情報交換を行う事業を実施した。 ・計32回実施 ・参加者総数271人	こどもの城 各々月1回実施 計36回 アップーランド 各々月1回実施 計48回
		77	学童保育の充実	青少年課	放課後児童健全育成（学童保育）事業	放課後児童の健全育成を図るため、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に事業を実施した。 学童保育所数 40か所45クラス 学童保育所登録児童数 2,122人 利用者の利便性・安全性を向上させるため、学校敷地外にあった学童1か所1クラスを学校敷地内に移転整備した。 R3整備学童保育所 1月：東町小学学童保育所 準要保護世帯及びひとり親世帯に対し、保育料の一部を補助した。 【補助実績】 4～9月：延べ321人 7,451,200円 10～3月：延べ293人 6,724,300円 年度計：延べ614人 14,175,500円	引き続き、放課後児童クラブで適切な保育を提供するために必要な環境整備を図る。
家族介護の支援の充実	家族介護の支援の充実	78	家族会への支援の充実	高齢介護課	家族会への支援の充実	在宅で介護している家族を対象に、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回実施している。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、電話による非接触型にて実施。 実施回数：12回、参加者数：延べ17人	介護者になることが多い女性の抱える不安軽減のため、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回開催する。
		78	家族会への支援の充実	障害福祉課	家族会への支援の充実	障害者の理解促進のため、家族会ほか諸団体と協働し障害者団体や事業所等製品の販売会などのイベントを行った。	販売会などのイベントを開催予定。
		79	相談体制の充実	高齢介護課	地域包括支援センターによる総合相談事業	地域包括支援センターで、介護を必要とする人や、その家族などからの相談に応じる総合相談事業を実施した。相談の結果、介護保険の認定申請が必要になった場合は代行申請を行った。相談件数は59,440件であった。	地域包括支援センターで、介護を必要とする人、家族の相談に応じる総合相談事業を実施する。主な介護者になることが多い女性の抱える介護の悩みや不安の解消となるような相談を目指す。
		79	相談体制の充実	障害福祉課	相談体制の充実	市内在住の障害のある人からの生活に関する相談体制の充実を目的とし、基幹相談支援センターおよび5か所の障害者生活支援センターへの委託事業を継続実施した。また、障害者の就労に関する相談・斡旋・調整を実施するため、上尾市障害者就労支援センターの委託事業も継続し、相談件数は20,192件であった。	継続して実施
		80	家族介護教室等の開催	高齢介護課	家族介護教室等の開催	要介護高齢者を在宅で介護している家族に対し、必要な介護知識・技術の習得や、高齢者虐待の予防啓発のため、家族の抱える介護の悩みや疑問に答え、適切な介護保険サービス利用の説明を行う家族介護教室を地域包括支援センターに委託して実施した。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、郵送や訪問、個別対応による非接触型にて実施。 実施回数：10回 参加者数：延べ133人	要介護高齢者を在宅介護している家族に対して必要な知識の習得を支援したり、主な介護者になることが多い女性の抱える悩みや疑問に答える家族介護教室の開催をする。 実施回数：10回

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標	
子育てと介護支援の推進	家族介護の支援の充実	81	認知症サポーターの養成	高齢介護課	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の開催	認知症を理解し、地域で認知症の人とその家族を支えるため、キャラバンメイト（認知症サポーター養成のための学習会の講師役）を中心に、認知症サポーター養成講座を実施している。また、過去に認知症サポーター養成講座を受講した者を対象に、ステップアップ講座を開催している。 実施回数：5回 参加者数：延べ112人	認知症リポーター養成講座やステップアップ講座を開催する。より女性のサポーターを増やし、認知症でも住みやすい街づくりを目指す。 参加者数：延べ150人	
		82	生活サポート事業の継続	障害福祉課	生活サポート事業の継続	障害児（者）およびその家族が必要としている生活支援サービスを、時間単位で提供するための活動を行っている事業所に補助金を交付した。 補助対象事業所 12事業所 補助額 15,909,800円 サービス時間数 6972.5時間	生活サポート事業を継続する。	
	男性の自立を支援する講座の開催	83	男性が参加しやすい講座の開催	人権男女共同参画課	おうち時間のおもてなし料理～簡単なのに華やか！「クリスマスリースのフラワーキッシュ」～	コロナ禍で女性に偏りがちな家事に、男性の積極的な参加と家庭における男女共同参画の推進を図るために、パートナーと一緒に料理をする楽しさとコツを学びます。 12月オンライン配信 参加者数9人	同様の講座をより多くの参加者が見込める対面での講座実施を検討する。	
		83	男性が参加しやすい講座の開催	健康増進課	妊婦教室（プレママ教室1日目）・両親学級（プレママ教室2日目・パパママ教室）の実施	パパママ教室（両親学級）1日コース（土曜日開催）とプレママ教室（妊婦教室）2日コース（ただし、2日目は両親で参加）（2日とも平日開催） 講師は、1日コースは保健師、2日コースは歯科医師、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士で実施した。 実施回数 1日コース年8回、2日コース年6回 参加者 1日コース延べ359人、2日コース延べ305人	2日コースを1日コースにし再編し継続実施。 プレママ教室 6回（平日） パパママ教室 8回（土曜日開催）、6回（平日開催）	
		83	男性が参加しやすい講座の開催	生涯学習課（公民館）	男性向けの講座の実施	【原市公民館】 「スッキリ！爽やか！メンズヨガ」 参加者12人（延べ43人）	男性向けの講座を実施するなど、男性の自立を支援する講座の実施を検討する。	
	地域活動における男女共同参画の推進	地域の住民組織における男女共同参画の推進	84	地域社会や地域活動への男性の参画の推進	子育て支援センター	出張講座を土曜日に開催	公民館等で実施する出張講座（ももっこ広場）を、誰でも参加しやすいよう土曜日に開催した。 ①期日 7月3日（土） 場所 上平公民館 参加者 47人 <内訳>保護者23人（男性8人、女性15人）、子ども24人 ②期日 10月2日（土） 場所 大石公民館 参加者 50人 <内訳>保護者23人（男性7人、女性16人）、子ども27人	通常、平日に開催している「ももっこ広場」（市内公民館の体育室等で、リズムやゲームなどを動かすことに重点を置いた出張講座）を、誰でも参加しやすいよう、日程等を考慮して、年2回、土曜日に開催する。
85			地域社会における政策方針決定過程への女性の参画の推進	市民協働推進課	自治統括員の委嘱	各事務区（自治会）における女性の参画を図った。 ・自治統括員114人中、女性の自治統括員4人 ※制度改正により、令和2年度からは区長制度から自治会制度に変わったため、区長・区長代理の人数ではなく自治統括員の人数とした。	各事務区（自治会）からの推薦に基づき、自治統括員を委嘱しているが、今後も女性の参画を図る。	
86			自主防犯組織への女性の参画の推進	交通防犯課	自主防犯組織への女性の参画	市内の自主防犯組織102団体中、女性の代表者は3人となっている。また、約650人の女性が自主防犯ボランティアに登録し、活動している。	自主防犯組織では構成員の減少が課題となっており、女性の構成員も減少している。自主防犯組織の活動を周知し構成員の増加を促進する。女性構成員目標人数 660人	
市民活動団体との連携		ボランティアの育成の推進	87	ボランティアの育成及び活動支援	市民協働推進課	多文化共生ボランティア講習会を開催し、災害時の外国人支援についての講習会、多言語支援センターの運営訓練を実施	・講習会 7月17日開催 参加者12名（男性8名、女性4名） ・多言語支援センター運営訓練 12月5日開催 参加者14名（男性9名、女性5名）	今年度も開催予定。R4年度はペルーの方に来ていただき、ペルーと日本の災害の違い、外国人として日本の災害を経験して思うことなどをお話していただくことを企画している。
		市民活動団体との連携の検討	88	市民活動団体との連携の検討	市民協働推進課	上尾市国際交流協会との協働事業「AGA子ども教室」プロジェクトを実施	4月は月3回開催し、児童生徒計5名、指導員計16名が参加した。ボランティア指導員登録者数は15名（うち6割が女性）。5月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。子ども教室指導員スキルアップ研修会（対面とオンライン）を開催、計44名が参加した。（参加者数はAGA日本語教室の指導員も含む）	令和4年5月から教室を再開している。月2回および夏休み等の長期休暇での開催を予定している。
			88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体の活動支援	女性の地位向上を図るための地域・社会活動事業を実施する女性フォーラムあけおに対して、女性フォーラムあけお補助金交付要綱に基づき補助金の交付を行った。 補助額 120,000円	補助金の交付を行った。 補助額120,000円
市民活動団体との連携	市民活動団体との連携の検討	88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『多様な性から人権尊重を考える～誰もが参画できる社会のため～』 講師：中島 潤さん 8月28日開催予定だったが、コロナ禍のため中止	「LGBT」という言葉自体は知っている、聞いたことがあるという方が増えてきていますので、単に言葉を知っているということを超えて、自分自身も多様な性を生きる一人として実感したうえで、互いの在り方を尊重するためにどのように参画していけるのかということを考えていこうという趣旨の講演会です。	共催講座の実施 目標3講座 テーマは子育て支援、防災、性教育に関するものを企画・開催予定	
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『日本の学校は本当にジェンダー平等になっているか？』 講師：亀田温子さん（十文字学園女子大学名誉教授、研究フェロー、国立女性教育会館アーカイブ委員長など） 10月30日実施 参加者20名	子どもたちの意識や能力の形成に大きな影響を与える学校教育をジェンダーの視点から学びます。 講師：亀田温子さん（十文字学園女子大学名誉教授、研究フェロー、国立女性教育会館アーカイブ委員長など） 10月30日実施 参加者20名	共催講座の実施 目標3講座 テーマは子育て支援、防災、性教育に関するものを企画・開催予定	
	88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『災害女性学って何？～東日本大震災から10年経って～』 講師：浅野富美枝（宮城学院女子大学研究所研究員） 令和4年2月9日実施	災害が発生するたびに女性たちが直面する諸問題とその背景要因を解明し、解決に向けての力となる思想力・論理的枠組みを提示する新しい知識と具体的・実践的ツールとして災害女性学が必要だと言う思いで「災害女性学をつくる」という本を刊行した浅野さんを講師に迎え、女性の視点を防災対策に活かすことを学びます。	共催講座の実施 目標3講座 テーマは子育て支援、防災、性教育に関するものを企画・開催予定		

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
働く場における男女共同参画の推進	男女の雇用機会均等の確保の推進	89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	商工課	「企業人権問題講演会」の実施	※コロナ禍のため動画による講演映像を配信した。 【内容】 企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 草野 道生 氏 ②大宮公共職業安定所 管理部長 吉澤 久雄 氏 【期間】 令和4年2月17日から3月16日まで 【再生回数】 97回	市内企業の人権への取組を促進するため、2月に講演会を実施する。
		89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）の推進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）の推進	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
働きやすい職場環境づくりの推進	仕事と家庭が両立しやすい職場環境の推進	91	育児・介護休業等の取得促進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境作りの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		91	育児・介護休業等の取得促進	人権男女共同参画課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げる。育児休業制度の変更について、COUSに掲載した。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境作りの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げる。
各種ハラスメント防止のための広報・啓発活動	各種ハラスメント防止のための広報・啓発活動	93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	労働契約や就業規則をめぐるトラブル事例の紹介や対処方法等についての労働セミナーを埼玉県と共催で実施する。 【演題】埼玉県労働セミナー「労働法の基礎セミナー～労働契約・就業規則～」【講師】相模女子大学 准教授 奥貴 灯文氏【会場】上尾市プラザ22 会議室【開催日】令和4年8月1日
		93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標	
女性の就業継続・起業支援の推進	女性が能力を発揮できる就業支援の推進	94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	商工課	女性向け就職セミナー「自分の価値や適正を知ろう」の実施	【内容】 コロナ禍の厳しい就職活動を支援するため、適職を探す際に役立つノウハウをお伝えする女性向けセミナーを埼玉県及び伊奈町と共催で実施した。 【演題】自分の価値や適正を知ろう 【講師】埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー 【会場】伊奈町ふれあい活動総合センター「ゆめくる」2階会議室 【開催日・参加人数】令和3年9月1日 11名	女性の就業継続・再就職を支援するため、埼玉県及び伊奈町と共催で10月に女性向けセミナーを実施する。	
		94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	女性の就業継続・再就職の支援講座の企画・開催	
		95	企業における男女共同参画の啓発	商工課	「企業人権問題講演会」の実施	※コロナ禍のため動画による講演映像を配信した。 【内容】 企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 草野 道生 氏 ②大宮公共職業安定所 管理部長 吉澤 久雄 氏 【期間】 令和4年2月17日から3月16日まで 【再生回数】 97回	市内企業の人権への取組を促進するため、2月に講演会を実施する。	
	女性の起業家支援体制の推進	96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	商工課	「女性のためのフチ起業セミナー」の実施	※コロナ禍のため①のみオンラインで実施した。 【内容】 フチ起業に興味のある女性を対象に、スタートアップを支援するセミナーをNPOと連携して実施した。 【演題】(全4回) ①はじめてのフチ起業 自分らしいシゴトの始め方 ②選ばれる在宅ワーカーになるためのちょっとしたコツ ③即実践!お教室業のはじめかた ④在宅ワークはじめ方セミナー 【講師】(4名) ①NPO法人マミング 代表理事 市倉 育江 氏 ②FourD's 畔見 知子 氏 ③Co-chat 笠倉 さつき 氏 ④榊フォレスト経営 代表取締役 森 尚子 氏 【開催日・参加人数】 ①令和3年10月21日 17名 ②令和3年11月 8日 15名 ③令和3年12月10日 17名 ④令和4年 1月14日 12名	起業を目指す女性を支援するため、関係機関と連携しながら取組を実施する予定。また、上尾商工会議所との共催で、創業に関するセミナーを全4回実施する。	
		96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県の女性起業家向けセミナーの紹介に留まった。	女性起業家のための講座の企画・開催を検討する	
	農業に従事する女性支援の推進	97	農業に関わる女性団体への支援	農政課	農業女性連絡協議会運営事業費補助事業	農業女性連絡協議会は生産農家の女性で組織され、女性の社会的・経済的評価と地位向上を図り、健康でゆとりある明るく住み良いふるさとづくりを推進することを目的としている。農業研修会、講習会(味噌づくりなど)を通じて、食の大切さや、食文化の後世への継承づくりを進めている。 また、生産農家相互の情報や技術交換をし、農業や経営について知識を深めている。 ・補助額 12,000円(コロナの影響による活動自粛により市へ補助金を返還) ・構成員数 22名	役員会、視察研修、講習会(まんじゅうづくり、味噌づくり)、アグリフェスタへの参加などを通じて食文化の後世への継承づくりを進める。	
	女性のチャレンジ支援とキャリア教育の推進	女性が少なかった分野へのチャレンジ支援	98	農業系・理工系分野に関する情報提供	人権男女共同参画課	STEM(科学・技術・工学・数学)教育講座の実施 ～発想・決める・伝える・未来を生き抜く力の鍛え方～	女子の理工系分野における女性研究技術者の割合が未だ低い水準であることが課題です。未来を生き抜く教育の力を鍛えるきっかけづくりを目的として、自発性・創造性・判断力・問題解決力について学びます。 講師：三谷 宏治さん(金沢工業大学虎ノ門大学院教授) 6月にオンライン配信 視聴者数111人	講座の実施等を通して情報を提供する。
			99	キャリア教育講座の開催	人権男女共同参画課	キャリア教育講座 「パートナーはアスペルガー？」	発達障がいのある人のパートナーや家族が抱える悩みについては、あまり知られておらず、相談機関も整っていません。同じ悩みを持つ人たちの支援活動に取り組んできた講師に突き動かす想いを伺います。問題を抱え込み、孤立しないために、まずは「知る」ことから始めます。 講師：櫻田 万里さん(SORA)(アスペルガー・アラウンド代表)10月30日※コロナ禍のため中止	講座の開催

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
防災の分野における男女共同参画の推進	男女共同参画の視点に立った防災対策の推進	100	女性の防災士資格取得の推進	危機管理防災課	自主防災会への勧奨	令和3年度に自主防災会防災士育成補助金の制度を使用し、防災士の資格取得をした女性の数：0人	令和4年度の自主防災会防災士育成補助金の制度を使用し、防災士の資格取得をした女性の数：3人（当該補助金は全部で15人分）
		101	男女共同参画の視点でとらえた防災意識の啓発	人権男女共同参画課	災害女性学って何？～東日本大震災から10年経って～	災害が発生するたびに女性たちが直面する諸問題とその背景要因を解明し、解決に向けての力となる思想力・論理的枠組みを提示する新しい知識と具体的・実践的ツールとして災害女性学が必要だと言う思いで「災害女性学をつくる」という本を刊行した浅野さんを講師に迎え、女性の視点を防災対策に活かすことを学びます。 講師：浅野富美枝（宮城学院女子大学研究所研究員） 令和4年2月9日実施	男女共同の視点でとらえた防災講座の実施（講座開催確定）
		102	男女共同参画の視点に立った地域防災計画・各種マニュアルの整備	危機管理防災課	マニュアル整備	「上尾市避難所運営マニュアル」内の表現（女性やLGBT（性的少数者）への対応）について、担当課（人権男女共同参画課）に確認したうえで改定を行った。	上尾市避難所運営マニュアルをはじめとした他のマニュアル内の表現について確認し、必要に応じて加筆修正を行う。
		103	消防団への女性の参画の推進	消防総務課	団員募集の広報活動	①上尾市消防本部HPの消防団員募集ページを更新。 ②火災予防運動に合わせ、上尾駅にて団員募集を実施。 ③年に6回実施する分団長会議にて、積極的な団員募集を分団長経由で依頼。 ④10月30日に埼玉県消防協会主催の女性消防団員研修会に女性団員1名参加する。 ⑤広報あけお等の広報媒体を利用し団員募集を実施。 → 女性消防団員が1名増員し3名	消防団員の入団に関するチラシを作成し、消防団員募集活動を継続的に実施する。 2名増員し、合計5名を目標とする。